

佳作

なつやすみにがんばったこと

愛知県 岡崎市立三島小学校一年 杉山 巧樹

ぼくは、かおにみずがかかるとのがにがてです。でも、およげるようになりたいので、なつやすみちゅうに、みずにかおをつけるれんしゅうをしました。

まずは、おかあさんとおふろのなかで、はなまみずにつけるれんしゅうをしました。くちまではすぐにつけることができました。でも、はなまみずにつけるのになんにかかりました。はなのなかにみずがはいるといたので、こわかったからです。おかあさんが、

「しっかりいきをすって、とめる。こころのなかで、一、二、三とかぞえながら、ゆっくりはなまみずにつけてごらん。」

といいました。ゆうきをだしてやってみたら、うまくできました。すこしじしんがつかまりました。

つぎに、いえのにわで、プールをしたときに、か

おをみずにつけるれんしゅうをしました。おとうさんが、おてほんをみせてくれました。おとうさんは、みずのなかでめがあげられるので、じゃんけんもすることができて、かっこよかったです。ぼくも、おとうさんみたいに、できるようになりたいとおもいました。

ぼくも、みずにかおをつけようと思いました。ぜんぜんできませんでした。おとうさんが、

「おとうさんがちかくにいるからこわくないよ、こいうきならできる。ゆうきをだしてやってごらん。」
といいました。ぼくは、おとうさんがいったことをくりかえして行ってがんばりました。でも、やっぱりできませんでした。こんどは、おとうさんが、
「ゆうきをだしてできたら、あいすのだぶるをかってあげる。」

といいました。ぼくは、あいすがすぐたべたかったので、ゆうきをだしてみずにかおをつけようと思いました。でも、やっぱりこわくてできませんでした。おとうさんが、
「きょうはもうやめて、またこんどにしようか。」
といいました。ぼくは、くやくしてないてしまいました。おとうさんが、

「なくぐらいくやしいなら、いっしょにがんばろう。」

といって、ぼくのよこでいっしょにがんばってくれたので、さいごにゆうきをだしてみずにかおをつけることができました。

まだ、みずがにがてで、かおをつけることしかできなけれど、ゆうきをだしてもぐれるようになって、かっこよくおよげるようになりたいとおもいました。